

ライフデザイン学科 カリキュラムマップ

〈ディプロマポリシー〉

1	思いやりの心を持って、学びの意欲を高め感性を磨くことができる
2	21世紀の教養を身につけ、広い視野と将来の見通しを持って社会とかかわることができる
3	社会に生きる人材として、多様な知識や技術を身につける

〈ミドルレベルディプロマポリシー〉

ライフデザイン学科では、学びの分野ごとに、ディプロマポリシーの下位にミドルレベルディプロマポリシーを作成している。

【分野】

ライフデザイン

1-1	学びの基礎の学習を通して、学びの楽しさを理解する
1-2	建学の精神に通じる思いやりの心を身につける
2-1	現実の中に問題を見つけ、自ら答えを見つける姿勢を身につける
2-2	生涯にわたり、自ら持続的に学ぶ姿勢を身につける
3-1	学んだ手法を社会のさまざまな局面で活かせる応用力・展開力を身につける
3-2	能動的な学びを通じてチームの一員として活動することができる

コミュニケーション

1-1	思いやりの心を持って他者と接することができる
1-2	伝えることとともに聴くことを大切にすることができる
2-1	深い教養を背景とし、多様な語彙力、表現力にもとづくコミュニケーション力を身につける
2-2	豊かなコミュニケーション力によって異文化間、世代間などの積極的な橋渡し役となることができる
3-1	コミュニケーションによって人間関係を円滑にすることができる
3-2	的確なコミュニケーションに必要な知識と技術を身につける

社会を学ぶ

1-1	自らが社会の一員である実感を持ち、共感することができる
1-2	世の中の出来事を「自分の問題」として捉え、考えることができる
2-1	世の中の仕組みや動きを理解する
2-2	何が問われているのか、何が大切なことかを、見極める力を身につける
3-1	社会の一員として、どうしていけばいいかを構想し行動する力を身につける
3-2	自信を持って、社会人としての生活や社会貢献ができる

ビジネス基礎

1-1	言葉で表現することの楽しさを理解する
1-2	相手や目的に応じて思いやりの心を適切な言葉で表現することができる
2-1	再学習が必要だと思うことについて自ら学び理解する
2-2	ものごとを筋道たてて考えることができる
3-1	社会人として日本語を正しく使うことができる
3-2	社会人として生活するうえで、必要な基礎学力を身につける

情報基礎

1-1	豊かな人間関係の形成にICTを活用することができる
1-2	適切な手法で情報活用を楽しむことができる
2-1	論理的な問題解決能力を身につける
2-2	新しい情報技術を自ら学び理解する
3-1	生活の中でパソコンを活用することができる知識と技術を身につける
3-2	パソコンを課題解決に効率的に活用することができる

心のふれあい

1-1	さまざまな人と協力し、一緒にいることを喜ぶことができる
1-2	人のために自分を役立てたいと思うことができる
2-1	現代社会における心の問題を理解する
2-2	社会問題の解決におけるホスピタリティマインドの重要性を理解する
3-1	人に寄り添い、ともに歩むことができる
3-2	他者理解のための専門的な知識と技術を身につける

キャリア&ウーマン

1-1	思いやりの心を持ち、その心を伝えることができる
1-2	社会で活躍することを目標とする高い志を持つことができる
2-1	現代社会における女性に関わる諸問題を理解する
2-2	展望をひらく前向きな取り組みの中で、自らの個性や能力を発揮することができる
3-1	自らのキャリアデザインを描き、実践することができる
3-2	人生の多様な局面を想定し、自ら生き方を選択することができる

国際社会

1-1	グローバルな時代に生きている実感を身につける
1-2	自らが世界の一員であることを自覚し、世界のできごとに関心を持つことができる
2-1	国際社会の動きや課題など基礎的な国際教養を幅広く身につける
2-2	世の中の出来事をグローバルな感覚で理解し、判断することができる
3-1	グローバル社会の一員として、世界にどのように関わっていくべきかを考え行動することができる
3-2	国際的な課題に対し積極的に役割を果たそうとすることができる

外国語

1-1	外国語でコミュニケーションをとる楽しさ、喜びを知ることができる
1-2	外国語への興味・関心を高めることができる
2-1	外国語によるコミュニケーションにおける基礎的能力を身につける
2-2	言語表現の共通性と多様性を理解する
3-1	外国語の知識と運用能力を高めることができる
3-2	外国語を活用して、異なる背景を持つ人と活動することができる

ファッション

1-1	衣生活を大切に考えることができる
1-2	おしゃれを通した喜びを知ることができる
2-1	衣生活やファッション産業にかかわる社会問題を理解する
2-2	多様な衣文化と装いのマナーを理解する
3-1	健康に寄与する衣生活を実現するための知識と技術を身につける
3-2	ファッションビジネスにかかわる企画提案ができる

ブライダル

1-1	新郎新婦の幸せをサポートする喜びを知ることができる
1-2	ブライダルのプロデュースを楽しむことができる
2-1	ブライダルに関する現代事情を通じて社会問題を理解する
2-2	ブライダルの慣習やフォーマルマナーを理解する
3-1	新郎新婦の多様な要望を実現することのできる知識や技術を身につける
3-2	これからのブライダルのあり方を追求し、オリジナルウエディングを提案することができる

フード

1-1	食事作りを通してまごころを伝えることができる
1-2	くらしを彩る食を楽しむことができる
2-1	食に関わる社会問題を理解する
2-2	食文化の多様性を理解し、食を通じた文化の発展に寄与することができる
3-1	健康的な食生活を実現するための知識と技術を身につける
3-2	食を通じて社会貢献ができる

インテリア

1-1	インテリアデザインを通して住む人への思いやりの心を伝えることができる
1-2	快適な住まい空間の実現への興味・関心を高めることができる
2-1	住に関わる社会問題を理解する
2-2	世界の住文化の多様性を理解し、住を通じて暮らしの在り方を理解する
3-1	健康で快適な住生活を実現するための知識と技術を身につける
3-2	ニーズに即した住空間を提案することができる

デザイン企画

1-1	デザインを通して、創造する楽しさ、喜びを感じることができる
1-2	デザインしたものを利用する人への思いやりの心を持つことができる
2-1	社会におけるデザインの役割を理解する
2-2	デザインを通して時代の変化を敏感に感じとることができる
3-1	人が幸せと喜びを感じるデザインを考えることができる
3-2	すべての人にとって暮らしやすいコミュニティデザインの創生に貢献することができる

ビジネス実務

1-1	思いやりの心を発揮し、さまざまなビジネスシーンで状況に応じた対応ができる
1-2	働くことの意義を、人のために何かを成し遂げることの喜びを通して知ることができる
2-1	ビジネス社会の中で活かすことができる基本的教養、基本的知識を身につける
2-2	変化や多様化のすすむビジネス社会の動向を理解する
3-1	オフィス業務に必要な知識と技術を身につける
3-2	状況に応じた対人対応力を身につけ、組織の中で自らの役割を果たすことができる

医療事務

1-1	患者に対する医療事務の重要性を理解し、思いやりの心を持って患者に接遇することができる
1-2	医療事務の現状に関心を持ち、常に自らの知識・技能を更新することができる
2-1	社会問題の1つとして、医療・保険・介護の問題を捉えることができる
2-2	医療現場の課題に注意を向け、その解決に努力することができる
3-1	医療事務に携わるために必要な知識と技能を身につける
3-2	医療分野のチームの一員として貢献することができる

エンターテインメント

1-1	制作者の意図を理解した上でエンターテインメント作品を楽しむことができる
1-2	エンターテインメントを通して、人を楽しませる喜びを知ることができる
2-1	エンターテインメントの構造としくみを理解する
2-2	エンターテインメントを活用し、異文化間、世代間のコミュニケーションを促進することができる
3-1	エンターテインメントの学習を通して培われた企画力、構成力を日常生活に活かすことができる
3-2	エンターテインメントのビジネスモデルとしての戦略をさまざまなビジネスシーンに活かすことができる

観光

1-1	旅にある癒しや楽しさを伝えることができる
1-2	観光のホスピタリティを学んでおもてなしができる
2-1	旅を通じて国際的視野を持つことができる
2-2	観光を通して環境問題や高齢者問題などの社会情勢を理解する
3-1	旅行者ひとりひとりにやさしい旅を提案することができる
3-2	観光に関する情報収集につとめ、時代にふさわしい新しい旅を開発することができる

〈カリキュラムマップ〉

ライフデザイン学科 ディプロマポリシー		1	思いやりの心を持って、学びの意欲を高め感性を磨くことができる				
		2	21世紀の教養を身につけ、広い視野と将来の見通しを持って社会とかがわることができる				
		3	社会に生きる人材として、多様な知識や技術を身につける				
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号			
				凡例 ◎:DP達成のために特に重要な目標 ○:DP達成のために重要な目標 △:DP達成のために望ましい目標			
				1	2	3	
仏教の人間観Ⅰ	2	1	1	テキストに書いてあることを正確に理解することができる	◎		
			2	釈尊の生き方を「過去の偉人の伝記」として消化するのではなく、現代の問題や自分自身の生き方ともリンクさせて理解することができる		◎	
			3	理解した内容を正確に説明することができる			◎
仏教の人間観Ⅱ	2	1・2	1	校訓「真実心」の意味することを表現できる	◎		
			2	自分自身の課題として、生病老死に代表される現実に直面しつつも「善く生きるとはどのようなことであるか」を問い、それに対する考えを表現できる。		◎	
外国の大学での短期研修	2	1・2	1	研修先の言語を、日常生活に支障ないレベルまで習得する。	◎		
			2	大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける。		◎	
			3	海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める。			◎
外国の大学での短期留学	4	1・2	1	英語を、実用的なレベルまで習得する。	◎		
			2	大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける。		◎	
			3	海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める。			◎

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
「ライフデザイン」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1	学びの基礎の学習を通して、学びの楽しさを理解する						
				1-2	建学の精神に通じる思いやりの心を身につける						
				2-1	現実の中に問題を見つけ、自ら答えを見つける姿勢を身につける						
				2-2	生涯にわたり、自ら持続的に学ぶ姿勢を身につける						
				3-1	学んだ手法を社会のさまざまな局面で活かせる応用力・展開力を身につける						
				3-2	能動的な学びを通じてチームの一員として活動することができる						
凡例				◎:MDP達成のために特に重要な目標		○:MDP達成のために重要な目標		△:MDP達成のために望ましい目標			
京都光華の学び	1	1	1	光華の建学の精神と歴史について理解する		◎					
			2	自分の進路について考える			△				
			3	ライフデザイン学科における学びの基礎を理解する	○						
ライフデザイン総論	2	1	1	グループ内で十分にコミュニケーションをとることができる						○	
			2	情報の収集、共有、表現、運用ができる					○		
			3	コミュニケーションを通じて、他者協力の大切さを理解することができる						○	
ライフデザイン特論Ⅰ	1	2	1	テーマに従って情報収集(調査・学習)する	○	○					
			2	テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン(企画・計画・意匠作成)する			◎	○			
			3	テーマに従ってデザインしたものを発表する					◎	○	
ライフデザイン特論Ⅱ	1	2	1	テーマに従って情報収集(調査・学習)する	○	○					
			2	テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン(企画・計画・意匠作成)する			◎	○			
			3	テーマに従ってデザインしたものを発表する					◎	○	
色彩の科学	2	1	1	色彩の基礎知識を学び、配色する楽しさを知る	◎			△			
			2	社会における色彩の役割を知る		△	○		○	△	
			3	人々に役立つファッションやインテリアなどの配色を知る		○	◎	△	◎		

「コミュニケーション」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	思いやりの心を持って他者と接することができる								
		1-2	伝えることとともに聴くことを大切にすることができる								
		2-1	深い教養を背景とし、多様な語彙力、表現力にもとづくコミュニケーション力を身につける								
		2-2	豊かなコミュニケーション力によって異文化間、世代間などの積極的な橋渡し役となること								
		3-1	コミュニケーションによって人間関係を円滑にすることができる								
		3-2	的確なコミュニケーションに必要な知識と技術を身につける								
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号							
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標							
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2		
プレゼンテーション概論	2	1	1	ビジネスにおけるプレゼンテーションの位置づけについての知識を身につける。		△				◎	
			2	さまざまなコミュニケーションの方法についての知識を身につける。			◎		○	◎	
			3	コミュニケーション上の情報伝達や説得などの知識を身につける。	○			○		◎	
プレゼンテーション演習Ⅰ	2	1	1	プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができる。	◎	◎	◎		◎	◎	
			2	制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができる。	◎		○	○		◎	
			3	グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる。	○	○	◎	○	○	○	
プレゼンテーション演習Ⅱ	2	1	1	異なる状況下において、常に技法を正しく用いてプレゼンテーションを行うことができる		○	◎			◎	
			2	自身や他者のプレゼンテーションを正しく分析することができる	◎	◎	○	○	○	○	
			3	他者のプレゼンテーションに対して的確に質問やコメントすることができる	○	◎	○	○	◎	○	
声と表現Ⅰ	2	1	1	自分の声や表現の癖を知る	◎	△	◎	◎	◎	△	
			2	発声の基礎を理解する	○	○					
			3	トーク力の基礎を習得する	◎	○	○	◎	◎	◎	
声と表現Ⅱ	2	1	1	場面に適した話し方を知る	◎	○	◎	◎	◎	◎	
			2	話を組み立てて伝える力を得る	△		◎	○	○	◎	
			3	相手に配慮したコミュニケーション力が備わる	◎	◎		◎	◎	◎	
笑いのコミュニケーション演習	2	1	1	笑いの構成、技法を理解することで、コミュニケーション能力の習得に役立てる	○				◎	◎	
			2	笑いのパターンを模倣することで、コミュニケーション能力の向上に役立てる		◎			◎	◎	
			3	笑いを創作することで、より実践的なコミュニケーション能力の習得と向上に役立てる		◎	◎		◎	◎	

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標						ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号											
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2						
「社会を学ぶ」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1	自らが社会の一員である実感を持ち、共感することができる																
				1-2	世の中の出来事を「自分の問題」として捉え、考えることができる																
				2-1	世の中の仕組みや動きを理解する																
				2-2	何が問われているのか、何が大切なことかを、見極める力を身につける																
				3-1	社会の一員として、どうしていけばいいかを構想し行動する力を身につける																
				3-2	自信を持って、社会人としての生活や社会貢献ができる																
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標																	
										1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2						
時事問題		2	1・2	1	何が問われているのか、何が大切なことかを、見極める力を身につける。						△		◎	◎	○						
				2	社会の一員として、どうしていけばいいかを構想する力を身につける。						○		△		◎	◎	○				
				3	世界の出来事を「自分の問題」として捉え、共感できるようになる+H89。						◎	◎				△	○				
環境問題		2	1・2	1	地球環境問題の現状について理解している。						○	○	○	△	△	△					
				2	地球環境問題が起こった経緯を理解している。						○	○	○	△	△	△					
				3	人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる。						◎	○	○	○	○	○					
社会を知る		2	1	1	世の中の仕組みや動きがよくわかるようになる							○	◎	◎							
				2	みずからが、グローバル社会の一員である実感を持てるようになる						◎	◎			○						
				3	市民として、自立した女性として、自信を持って、就職活動や社会貢献ができるようになる							○		△	◎	◎					
京の伝統文化を創る		1	1・2	1	能の世界(舞台、衣装、能面など)について自分たちの力で情報収集し一定の理解を得									◎							
				2	能の世界について初心者向けに説明することができる							○				◎					
				3	能楽のどのような点がよかったかについて説明することができる								◎					○			
くらしに生きるものづくり		2	1・2	1	ものづくりを通して社会の動きや変化を捉えることができる							◎									
				2	ものづくりを通して何が問われているのか、何が大切なことなのかを見極める力を身に									◎							
				3	社会の一員として他者と係わり主体的に行動することができる											◎					
マスメディア論		2	1・2	1	社会を学ぶ						○	◎									
				2	マスメディアの成り立ちと仕組みを学ぶ								◎								
				3	情報社会での生活を考える									○	◎						
現代消費生活論		2	1・2	1	契約の基礎知識や消費者被害の事例を理解する。						◎		◎	○							
				2	消費者トラブルに遭ったときの対処法を理解する。						○	◎			◎	○					
				3	消費者の権利を理解し、行使することの重要性を理解する。								○	◎	○						
サブカルチャー論		2	1・2	1	「装い」についての人間心理を描写する								◎								
				2	「ファッションと服装文化」に関して記述・説明ができる								◎								
				3	「サブカルチャー」諸領域への研究意欲を高める								◎								
ことばと文化		2	1・2	1	採り上げる映画に登場する「ことば」の洒落がわかるようになる						◎			○							
				2	映画に登場する風俗やしきたり、また方言等言語の多様性を理解する						◎				○						
				3	パロディのおもしろさが味わえるようになる						◎			○							
社会学		2	1・2	1	社会学の基礎概念を理解する								◎	○							
				2	社会学が対象とする多様な領域について理解する								◎	○							
				3	社会学を現代社会の諸問題と結びつけて考えることができる								◎	○							

科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標					
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
経済学	2	1・2	1 国際経済学を含む経済学全般の基礎概念と分析枠組みを理解できる			◎	○		
			2 家計・企業の行動、国内総生産等の経済指標、財・サービス市場と金融市場との関係、物価と失業の現状を理解できる			◎	○		
			3 現実社会の出来事と経済学との関係について具体的に捉えることができる			◎	○		
京都学	2	1・2	1 時代ごとの京都の変遷を理解する			◎	○		
			2 歴史的なできごとと京都の文化・景観との関連性を理解する			◎	○		
			3 さまざまな資・史料から京都の特徴を発見し、自らの言葉で説明する力を身につける			◎	○		
伝統文化とマナー I	1	1・2	1 茶道を通じて四季に根ざした日本文化の諸特性を深く理解する	◎			○		
			2 茶道における基本的な手法・立ち居振る舞いを習得する	◎			○		
			3 点前の作法を通して、もてなしの心を体得する	◎			○		
伝統文化とマナー II	1	1・2	1 華道の歴史を知る	◎			○		
			2 花を生かす基本的な手法を習得する	◎			○		
			3 華道を学ぶ中で、日本文化そのものへの理解を深める	◎			○		
産官学連携プロジェクト I	1	1・2	1 デザインや商品、販促宣伝を企画することの社会における役割を知る	◎		○			
			2 社会が求めるデザインや商品、販促宣伝を考える	○	○		◎	○	
			3 人々にとって役立つデザインや商品などを考える				◎	○	○
産官学連携プロジェクト II	1	1・2	1 デザインや商品、販促宣伝を企画することの社会における役割を知る	◎		○			
			2 社会が求めるデザインや商品、販促宣伝を考える	○	○		◎	○	
			3 人々にとって役立つデザインや商品などを考える				◎	○	○
地域連携実践演習 I	2	1・2	1 地域でのインターンシップを通して就業意識を身につける					○	
			2 地域でのインターンシップを通して地域の住民と交流する				○		
			3 地域でのインターンシップを通して地域の抱える問題を理解する			◎			
地域連携実践演習 II	2	1・2	1 社会人として身に付けておくべきマナーについて知る	○					◎
			2 社会人として身に付けておくべきマナーの誕生や歴史について知る			◎	○		
			3 社会人として身に付けておくべきマナーについて学んだことを他者に教える		△			◎	

「ビジネス基礎」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	言葉で表現することの楽しさを理解する								
		1-2	相手や目的に応じて思いやりの心を適切な言葉で表現することができる								
		2-1	再学習が必要だと思うことについて自ら学び理解する								
		2-2	ものごとを筋道たてて考えることができる								
		3-1	社会人として日本語を正しく使うことができる								
		3-2	社会人として生活するうえで、必要な基礎学力を身につける								
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号							
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標							
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2		
言葉と表現	2	1	1 論理的な文章の書き方を学び、実践する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			2 実践的な文章を適切に書くことができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			3 文章を書くための素材(表やグラフ)の分析や考察ができる。	○	○	○	◎	◎	◎	◎	
言葉の理解	2	1	1 日本語を表記する文字を適切に使うことができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			2 日本語の語彙や文の構造を説明できる。	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	
			3 日本語の敬語表現を理解し、実践できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
アクティブリーディング	2	1	1 文章の内容を要約することができる	○		○	◎			◎	
			2 文章の内容を要約し、他者に説明することができる	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	
			3 文章の内容を要約し、他所と議論することができる	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	
アクティブライティング	2	1	1 言葉で表現することの楽しさを理解する	◎		◎	○	◎	◎	◎	
			2 言葉を使ったさまざまな表現を習得する	○	○	○	○	◎	◎	◎	
			3 言葉を使った他者の表現を批評する	○	◎			○	○	○	
数の理解	2	1	1 数学に対して苦手意識を感じない				○				
			2 中学レベルの数学問題を解くことができる			○				◎	
			3 就職試験レベルの数学問題を解くことができる							○	

「情報基礎」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	豊かな人間関係の形成にICTを活用することができる										
		1-2	適切な手法で情報活用を楽しむことができる										
		2-1	論理的な問題解決能力を身につける										
		2-2	新しい情報技術を自ら学び理解する										
		3-1	生活の中でパソコンを活用することができる知識と技術を身につける										
		3-2	パソコンを課題解決に効率的に活用することができる										
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標			ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号							
						凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標							
						1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2		
情報処理概論	2	1	1	コンピュータの5大機能と対応する装置を説明できる。								○	
			2	数値や文字のデジタル化のしくみについて理解できる。					△	○		◎	
			3	OSやプログラミング言語の役割や他のソフトウェアとの関係を理解できる。						○		◎	△
ワープロ演習Ⅰ	2	1	1	タッチタイピングを身につける。					○			◎	
			2	日本語ワープロの基本的な使い方を身につける。								◎	
			3	日本語ワープロソフトを使って、基本的なビジネス文書を作成できる能力を身につける。							○		◎
ワープロ演習Ⅱ	2	1	1	日本語ワープロのさまざまな機能を修得する。							◎	○	
			2	日本語ワープロを使って、応用的な文書作成能力を修得する。				○					◎
表計算演習Ⅰ	2	1	1	表計算ソフトについての基本的な操作が実践できる。				○			◎		
			2	表計算を用いた基本的な課題を自らの力で解決する判断力を身につける。					○			◎	
			3	絶対参照や簡単な関数を利用して、効率的な数式を作成できる。						◎			○
表計算演習Ⅱ	2	1	1	表計算ソフトについての高度な操作が実践できる。				○			◎		
			2	表計算を用いた応用的な課題を自らの力で解決する判断力を身につける。					○			◎	
			3	高度な関数を組み合わせて、効率的な数式を作成できる。						◎			○
PC活用プレゼンテーション演習	2	1	1	PowerPointを利用して、自らの考えを的確に表現する資料が作成できる。						◎		○	
			2	情報機器が持つ特性を利用しながら、効果的な資料が作成できる。					○		◎	△	
			3	PowerPointを利用したプレゼンテーションの実践ができる。				○					◎

「心のふれあい」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	さまざまな人と協力し、一緒にいることを喜ぶことができる											
		1-2	人のために自分を役立てたいと思うことができる											
		2-1	現代社会における心の問題を理解する											
		2-2	社会問題の解決におけるホスピタリティマインドの重要性を理解する											
		3-1	人に寄り添い、ともに歩むことができる											
		3-2	他者理解のための専門的な知識と技術を身につける											
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標						ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
									凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標					
								1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
カウンセリング理論	2	1	1	カウンセリングの基礎的知識を習得する	◎	○	△	△	◎	◎				
			2	ピアヘルピングの基本的知識と技能を習得する	◎	◎	△	○	◎	◎				
			3	日常生活における人との対話に役立つ技能を身につける	◎	◎		△	◎	◎				
カウンセリングスキル	2	1	1	カウンセリング理論を理解する。			○					◎		
			2	カウンセリング技術を身につける。					○	◎				
			3	カウンセリングを日常生活で活用できる。	○	◎		○	◎					
ボランティア論	2	1	1	ボランティア活動について知る。	◎	◎	○	◎	△	△				
			2	愛他的精神を学ぶ。	○	◎	◎	◎	◎	◎				
			3	活動の始め方を理解する。	△	○	△	○	◎	◎				
ホスピタリティ論	2	1	1	各種演習を通じてホスピタリティマインドの探求をすることによりその必要性を理解するとともに自身にある優しさの確認もできる	○	◎	○	○	○	○				
			2	上記の項目を理解し、自身の意見を持つことができる	○	○	○	○	○	○				
			3	上記の項目に関して自身の意見を相手の状況に応じてわかりやすく説明し、表現する	◎	◎	◎	◎	○	◎				
臨床心理学	2	1	1	臨床心理学の基礎的な知識を得る。	○	◎	◎	△	◎	◎				
			2	臨床心理学の主な理論の特徴を理解する。	△	○	◎			△	◎			

「国際社会」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	グローバルな時代に生きている実感を身につける																	
		1-2	自らが世界の一員であることを自覚し、世界のできごとに関心を持つことができる																	
		2-1	国際社会の動きや課題など基礎的な国際教養を幅広く身につける																	
		2-2	世の中の出来事をグローバルな感覚で理解し、判断することができる																	
		3-1	グローバル社会の一員として、世界にどのように関わっていくべきかを考え行動することができる																	
		3-2	国際的な課題に対し積極的に役割を果たそうとすることができる																	
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標						ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号											
									凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標											
								1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2							
国際関係論	2	1・2	1	21世紀の国際社会の動きを理解する				◎	△	◎	○									
			2	グローバルな時代に生きる意味、自らが世界の一員であることを認識する				○	◎		◎	△								
			3	世界、とりわけ東アジアの平和のために何ができるかを考えられるようになる						△		◎	◎							
世界の民族と文化	2	1・2	1	民族、文化、グローバル社会についての基礎的な国際教養を身につける				○	○	◎	△									
			2	民族や文化の多様性がもたらすさまざまな現象を理解し、グローバル社会の可能性と課題を理解する				○	○	△	◎									
			3	市民として、これからの国際社会にどのように関わっていけばいいかを構想する力を身						△	○	◎	◎	◎						
世界のテーマパーク論	2	2	1	国内・海外の主なテーマパークの歴史、成り立ち、現状を理解することが出来るようになる				△	○	◎	○	◎	◎	○						
			2	国内・海外の主なテーマパークの経営コンセプト、今後の動向を理解することが出来る				△	○	◎	○	◎	◎	○						
			3	以上を学ぶことにより観光を通じての余暇生活の過ごし方や地域開発としての街づくりの実態や問題点を理解することが出来るようになる				○	○	◎	○	◎	◎	◎						

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
「ファッション」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1	衣生活を大切に考えることができる						
				1-2	おしゃれを通じた喜びを知ることができる						
				2-1	衣生活やファッション産業にかかわる社会問題を理解する						
				2-2	多様な衣文化と装いのマナーを理解する						
				3-1	健康に寄与する衣生活を実現するための知識と技術を身につける						
				3-2	ファッションビジネスにかかわる企画提案ができる						
					凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
衣生活概論	2	1	1	おしゃれを通じた喜びを知る		○					
			2	衣服の消費、選択、管理に必要な知識を得る			○		◎		
			3	生活者、消費者として衣生活を考え営むことができる	◎			△	○		
ファッション基礎演習	2	1	1	クリエイティブなものづくりの楽しさを知る		◎					
			2	ファッションの基礎的なデザイン要素を理解する						○	
			3	ファッションアイテムの製作に必要な基本的な技法を習得する						○	△
ファッション・アパレル材料	2	1	1	ファッション・アパレル材料の歴史・物質・化学構造・性質・用途・扱い方など理解する	△				◎	△	
			2	材料に関して自ら調べ、考察し、探求する			○	△			
			3	学び得た内容が発表できるとともに質問に対する回答力も備えている							◎
ファッションデザイン史	2	1	1	被服心理に係わる知識を得る	○	△				△	
			2	ファッションと社会とのつながりを知ることができる			◎				
			3	多様な装いの文化を知る				◎			
アパレルソーイング	2	1	1	自分のお気に入りの一着を制作する	○	○					
			2	家庭洋裁に必要な縫製テクニックを習得する						○	
			3	一般衣料の構造を理解する						○	
ファッションスタイル画演習	2	2	1	ファッションスタイル画の基本的テクニックを習得する						○	
			2	ファッションスタイル画により、イメージを視覚化することができる							◎
			3	デザインする楽しさを知る		○					
アクセサリー制作実習	2	2	1	手作りの楽しさを知る		◎					
			2	各種素材の取り扱い方や加工テクニックの習得							○
			3	制作を計画的に進め、作品ポートフォリオを作成することができる						○	◎
ファッションクリエイティブ実習	2	2	1	イメージをファッションのかたちに表現する						△	
			2	素材に適した縫製技術を習得する					△		
			3	おしゃれを通じた喜びを知る		◎					
ファッションビジネス論	2	1	1	ファッションを通じた社会貢献をすることができる	△						
			2	ファッションビジネスに必要な基礎知識を習得する			○	○			
			3	ファッションのコーディネート、提案、販売ができる能力を養う							◎
ファッションビジネス演習	2	2	1	基本的なデザインテクニックを習得する						◎	
			2	ファッションビジネスにおける商品企画の立案ができる							◎
			3	企画のビジュアルプレゼンテーションができる							◎
ファッションコーディネート演習	2	2	1	おしゃれを楽しむセルフプロデュースができる	△	◎					
			2	ファッションでイメージを客観的に表現できる							◎
			3	基本的なファッション商品知識を活かしてトータルなコーディネート提案ができる				△	○		◎

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
「ブライダル」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1	新郎新婦の幸せをサポートする喜びを知ることができる						
				1-2	ブライダルのプロデュースを楽しむことができる						
				2-1	ブライダルに関する現代事情を通じて社会問題を理解する						
				2-2	ブライダルの慣習やフォーマルマナーを理解する						
				3-1	新郎新婦の多様な要望を実現することのできる知識や技術を身につける						
				3-2	これからのブライダルのあり方を追求し、オリジナルウエディングを提案することができる						
					凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
ブライダル総論		2	1	1	授業で紹介するブライダルの基本的な用語を覚える。			◎			
				2	ブライダル業界についての理解を深める。			◎	○		
				3	結婚・挙式・披露宴について動向を把握した上で自分の考えを述べるができる。	◎		○	○	○	△
ブライダル文化論		2	1	1	日本における婚礼の歴史、慣習の重要なポイントを説明できる。			○	◎		
				2	興味を持った国の婚礼のしきたりや慣習について主体的に調べまとめることができる。			◎		○	
				3	上記で調べた内容を発表できる。			◎	○		△
ブライダル演習		2	2	1	結婚式の企画立案に必要な基礎知識を習得する。	○		◎	◎	◎	
				2	結婚について自分のオリジナルな意見を述べるができる。	△	○				◎
				3	模擬挙式開催に向け与えられた役割を果たすことができる。	◎	◎				
ABC検定特講		2	2	1	テキストの内容を理解する。			○	○	△	
				2	ABC検定の問題が解ける。			◎	◎	○	
				3	授業で習得した知識を活用し、今後のブライダルについて自分の意見を述べることができる。	△	△			◎	◎
ブライダル実務		2	1	1	ブライダルマーケットの概要を理解する	△		○	○	◎	△
				2	1組の結婚式を構成する各アイテムの知識を習得する	△		○	○	◎	△
				3	婚礼全般の基礎知識を習得する	△		○	○	◎	△
ブライダルプロデュース		2	2	1	ブライダルマーケットと各アイテムの基礎知識を理解する		◎	△	○	◎	
				2	作成した結婚式のコンセプトに沿って、様々なアイテムを駆使し結婚式をプランニングす		◎	△	○	◎	
				3	1件の結婚式をプレゼンテーションする能力を身に付ける		◎	△	○	◎	

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
「フード」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1	食事作りを通してまごころを伝えることができる						
				1-2	くらしを彩る食を楽しむことができる						
				2-1	食に関わる社会問題を理解する						
				2-2	食文化の多様性を理解し、食を通じた文化の発展に寄与することができる						
				3-1	健康的な食生活を実現するための知識と技術を身につける						
				3-2	食を通じて社会貢献ができる						
						凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標					
						1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
食品と調理		2	1	1	食品の特性を理解する。		△	△	○	◎	
				2	食品の加工・調理方法の基本を理解する。		△			◎	
				3	上記の知識をもとに、食生活を豊かに実行できる能力を養う。	◎	◎			◎	○
栄養と健康		2	1	1	栄養素の基礎知識を理解する。		○			◎	△
				2	上記の知識をもとに、健康との関連を説明できる。			○		◎	△
				3	食生活を通しての「健康づくり」ができる。			◎		△	○
調理実習		2	1	1	調理の基本技術を身につける。		△			◎	
				2	食品の特徴を理解し、食材に適した調理をすることができる。	○	△			◎	
				3	食材を選び、食事としての献立を作成し、調理することができる。	◎	○		○	◎	○
食文化演習		2	2	1	食文化に基づく世界の料理様式を理解する。		△		◎		
				2	その知識をもとに、料理をつくることができる。	○	△			◎	○
				3	日常の食生活を健康で豊かに創造することができる。	◎	○		◎	◎	○
製菓実習Ⅰ		2	1	1	製菓・製パン材料の特徴を知って、調理することができる。					◎	
				2	製菓・製パンの基礎技術を習得し、自分で作ることができる。	○	△			◎	○
				3	菓子やパンの食文化や歴史を理解し、食生活を豊かに創造することができる。	◎	○		◎	◎	○
製菓実習Ⅱ		2	2	1	製菓・製パンの材料の特徴を知って、調理できる。					◎	
				2	製菓・製パンの応用技術を習得し、自分で作ることができる。	○	△			◎	○
				3	菓子やパンの食文化や歴史を理解し、食生活を豊かに創造することができる。	◎	○		◎	◎	○
食生活概論		2	1	1	日々の食生活の大切さを知る。		○	○	○	◎	○
				2	食生活全般の幅広い知識を習得する。		○	○	◎	◎	○
				3	食生活アドバイザー3級試験合格に必要な知識を得る。		○	○	○	○	◎
フードビジネス論		2	2	1	「食」全般にマルチな興味・好奇心を持つことができる。	◎		△	○		
				2	食べること、作りたいという気持ちを育て、女性のひとつの「楽しみ」を感じることができる。	○	◎			○	
				3	料理全般に関する「雑学王」的な意識を育て、料理を大切に考えることができる。	△		○		△	△
食空間コーディネートⅠ		2	2	1	食空間コーディネートの必要性と効果を理解する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
				2	日本及び西洋の食文化と、テーブルウェアの基礎知識を習得する。	◎	◎	○	◎	○	◎
				3	和食・洋食・中国料理の基本セッティングを行うことができる。	◎	◎	△	◎	○	◎
食空間コーディネートⅡ		1	2	1	歳時記や五節句について理解する。	◎	◎	△	◎	○	◎
				2	行事、場面にふさわしい食空間を演出できる。	◎	◎	○	◎	◎	◎
				3	テーブルマナーとサービスマナーについて理解する。	○	◎	△	◎	○	◎

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
「インテリア」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1 インテリアデザインを通して住む人への思いやりの心を伝えることができる							
				1-2 快適な住まい空間の実現への興味・関心を高めることができる							
				2-1 住に関わる社会問題を理解する							
				2-2 世界の住文化の多様性を理解し、住を通じて暮らしの在り方を理解する							
				3-1 健康で快適な住生活を実現するための知識と技術を身につける							
				3-2 ニーズに即した住空間を提案することができる							
					凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
インテリアデザイン論		2	1	1 インテリアデザインの考え方や基礎知識を習得する	○	△			◎	○	
				2 インテリアデザインに興味を持ち、更に自力で探求できる契機をつかむ		◎	○	△	○		
				3 インテリア関係の実務資格(インテリア設計士等)を取得できる実力を身につける			○	○	◎	△	
住居・インテリア設計製図 実習		2	1	1 設計製図に必要な線の種類、引き方、縮尺がわかり、設計製図や室内透視図(パース)が描ける。		○		△			
				2 必要な家具配置と設計提案、造り付け家具計画、照明、空間計画、ウィンドトリートメント計画、内装仕上げ計画など、トータルなインテリアデザイン計画ができる。	○	◎			○	◎	
				3 「インテリア設計士2級」資格検定試験受験のための設計技術力が習得できる。			◎		○		
リビングデザイン演習		2	2	1 施主家族や、ライフスタイルを想定してインテリア・プレゼンテーションボードが制作でき	○				△	◎	
				2 贈る相手を想定し、感動を与えるインテリア装飾品が制作できる。	○				△	◎	
				3 自分の表現したい空間を縮尺模型を使って表現できる。	○				△	◎	
インテリアパース演習		2	1	1 住宅平面図を立体化するにあたり、部屋の奥行きを取り方を学び、窓や家具の配置を	△				○	◎	
				2 家具を立体的に描けるようにし、点景としての観葉植物や人物の描き方を学ぶ。	◎				△	○	
				3 色鉛筆を用い、彩色技術を習得する。	◎				△	○	
インテリアエレメント		2	1	1 最終的にはインテリアコーディネーター資格試験の第一段階の【インテリア販売の基礎知識】に合格することを目指す。		○	◎	○		○	
インテリア計画		2	2	1 インテリアの歴史の概略が理解できる	△				◎	○	
				2 空間寸法が理解できる	△				◎	○	
				3 高齢者配慮が理解できる	△				◎	○	
住生活概論		2	1	1 生活者の立場に立って住まいを考えることができるようになる。		○	△		◎		
				2 日本の住まいの歴史の二つの流れ「武家」ち「民家」を理解する。		△			◎	○	
				3 住まいは地域の自然や歴史、生活様式、慣習などを色濃く反映したものであることを理			△	○	◎		
住居プランニング		2	1	1 プランニングに必要な不可欠な住宅の機能について理解できる		△	○	○	◎		
				2 住宅設計のプロセスと設計方法が理解できる					◎		
				3 住宅に求める自分のイメージを図面(間取り図)で表現できる					◎		
住居管理学		2	2	1 快適な住環境を維持するため、住まいの汚れの原因と対策を理解する。	○	◎	◎	○	◎	○	
				2 安全な住環境を維持するため、住まいの中で起こりうる事故の原因と対策を理解する。	○	◎	◎	○	◎	○	
				3 円滑な地域環境を維持するため、住宅地の管理方法を理解する。	○	◎	◎	○	○	○	
住生活史		2	2	1 住宅の様式や住まい方の移り変わりに関する知識を身につける。	◎	◎	○	○	○	◎	
				2 現代の生活の中に残る歴史的な住宅や行事、習慣に興味、理解を持つ。	◎	○	○	◎	○	◎	
				3 いにしえの生活を想起することで好奇心や知的想像力を養う。	◎	○	○	○	○	◎	
居住福祉論		2	1	1 居住者が自分らしい生活を送り、幸福と感じられるような住まいとは何か、を考えられる	◎	△	○		◎	△	
				2 高齢者や障がい者にもやさしい住宅やまちは具体的にどのような工夫が必要か、わか	◎		△	△	◎	○	
				3 福祉・医療・建築が連携する実務資格「福祉住環境コーディネーター3級」の合格ライン	○		◎		◎		
ガーデニング		2	1	1 現場での体験談を交え実学を、プロとしての心構えや表現力を学ぶ。		△					
				2 空間演出のための樹木・修景デザイン・色彩・適正などを学び理解を深める。		△					
				3 屋上庭園での実習により、樹木・植物の育成・手入れ法を学ぶ。		△			△		

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
「デザイン企画」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1	デザインを通して、創造する楽しさ、喜びを感じることができる						
				1-2	デザインしたものを利用する人への思いやりの心を持つことができる						
				2-1	社会におけるデザインの役割を理解する						
				2-2	デザインを通して時代の変化を敏感に感じることができる						
				3-1	人が幸せと喜びを感じるデザインを考えることができる						
				3-2	すべての人にとって暮らしやすいコミュニティデザインの創生に貢献することができる						
						凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標					
						1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
カラーコーディネート演習		2	1	1	色彩の基本知識による、カラーコーディネートを楽しむを知る。	◎			○		
				2	社会でカラーコーディネートがどのように行われているかを知る。		○	◎	○	○	○
				3	人々のニーズにあったカラーコーディネートができる。		◎	○	○	◎	○
造形基礎演習		2	1	1	色と形、色の微妙な差、配色、色を使うおもしろさ等を理解し、かつ表現できる。	◎		△	△		
				2	装飾的な模様を自ら作り出し、作品として完成度を高められる。	◎					
				3	継続してモノを作っていく大切さを理解する。	◎					
デザインベーシックスタディ		2	1	1	デザインする楽しさを感じる	◎			○		
				2	いろいろなデザインの種類を知る			◎			○
				3	人の生活に役立つデザインを考える		○	◎		○	◎
デザインシンキング		2	1	1	デザインしたり企画をする楽しさを知る	◎			○		
				2	人々がどのようなデザインや商品をもとめているのかを考える		◎		○	○	
				3	これからの社会に役立つデザインや商品を考える			◎		○	○
ラッピングデザイン		2	2	1	様々な手法のラッピングデザインを知る	◎		○			
				2	生活の中の様々な場面で使われているラッピングデザインを知る			◎	○		
				3	人に喜びを感じてもらえるラッピングデザインを考える				○	◎	
ブランドデザイン		2	2	1	自分でブランドをつくる楽しさを知る	◎				△	
				2	社会で評価されているブランドを知る			◎	○		
				3	人々に幸せや楽しさを与えるブランドデザインを考える		○		△	◎	○
デザインプロフェッショナルワークⅠ		2	1	1	クリエイティブワークによる創造する楽しさを知る	◎			○		
				2	宣伝や広告などができるまでのプロセスを知る			◎	○		
				3	人が見て楽しいと感じられるクリエイティブを考える		◎			◎	○
デザインプロフェッショナルワークⅡ		2	2	1	創造する楽しさを知る	◎				○	
				2	社会における様々なクリエイティブの役割を知る		△	◎			○
				3	人に楽しさを与えられるクリエイティブを考える		○		○	◎	
ユニバーサルデザイン論		2	1	1	ユニバーサルデザインを学ぶことにより、人への思いやりをもつ		◎			◎	
				2	ユニバーサルデザインの現状を知り、問題点を考える			◎		○	◎
				3	これからの時代に役立つユニバーサルデザインを考える	△	○	◎	△	○	◎

科目名		単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
「デザイン企画」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1 デザインを通して、創造する楽しさ、喜びを感じることができる						
				1-2 デザインしたものを利用する人への思いやりの心を持つことができる						
				2-1 社会におけるデザインの役割を理解する						
				2-2 デザインを通して時代の変化を敏感に感じることができる						
				3-1 人が幸せと喜びを感じるデザインを考えることができる						
				3-2 すべての人にとって暮らしやすいコミュニティデザインの創生に貢献することができる						
					凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標					
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
コンピュータグラフィックス論		2	1	1 コンピュータにおける色や画像の仕組みを説明できる。		○	○			
				2 コンピュータグラフィックスで使う一般的な用語を理解する。			○			
				3 コンピュータグラフィックスの応用分野について説明できる。			◎	○		
インターネット演習		2	2	1 基本的なタグによって、文書の論理構造を設定できる			○			
				2 スタイルシートによって、見た目のデザインを設定できる		○	○			
				3 与えられた条件のホームページを所定の時間内に作成できる。			○			
コンピュータグラフィックス演習Ⅰ		2	1	1 写真の色調・明るさ・コントラストの補正ができる。			○			
				2 写真に文字や図形を合成できる。		○	○			
				3 目的の応じてグリーティングカードやポスターを作成できる。	◎					△
コンピュータグラフィックス演習Ⅱ		2	2	1 Flashの基本ツールで絵を描くことができる。			○			
				2 アニメーションのしくみを理解し、パラパラマンガ、モーショントウイーン、シェイプトウイーンを用いて絵を動かすことができる。	◎					
				3 フレーム、レイヤー、シーンというアニメーションの構成要素を理解し、複数のシーンからなる簡単なアニメーションを作ることができる。	○					△
コンピュータグラフィックス演習Ⅲ		2	2	1 Adobe Illustratorの基本的な描画機能を使って作画できる			○			
				2 色を適切に設定できる			○			
				3 与えられた課題に沿ったイラストを作成できる	◎			○		△

「ビジネス実務」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	思いやりの心を発揮し、さまざまなビジネスシーンで状況に応じた対応ができる							
		1-2	働くことの意義を、人のために何かを成し遂げることの喜びを通して知ることができる							
		2-1	ビジネス社会の中で活かすことができる基本的教養、基本的知識を身につける							
		2-2	変化や多様化のすすむビジネス社会の動向を理解する							
		3-1	オフィス業務に必要な知識と技術を身につける							
		3-2	状況に応じた対人対応力を身につけ、組織の中で自らの役割を果たすことができる							
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
ビジネス実務演習	2	1	1	ビジネス社会において、即戦力となる職業人を目指し、実務基礎能力(正しい接遇用語、職場での受命、報告・連絡・相談、来客対応、マナー・ルール)を身に付ける。	○	△	○	○	◎	◎
秘書検定特講	2	1	1	社会人としての良識やマナーを身に付ける。卒業後の就職を念頭に置き、秘書検定試験を受験し、合格を目標とする。	○	△	◎	○	◎	△
ビジネス実務総論	2	2	1	ビジネス現場・ビジネス活動・ビジネス社会を取り巻く環境についての理解を深める。また、有用なワーカーとして活躍するための基本を身に付ける。	○	◎	○	◎	○	△
簿記会計学	2	2	1	収入と支出のバランス感覚が身につく		○	△			
			2	企業の日常の取引の記帳技術が身につく		○			◎	
			3	各種補助簿の記入及び、財務諸表の作成ができる		○			◎	

「医療事務」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	患者に対する医療事務の重要性を理解し、思いやりの心を持って患者に接遇することができる							
			1-2	医療事務の現状に関心を持ち、常に自らの知識・技能を更新することができる							
			2-1	社会問題の1つとして、医療・保険・介護の問題を捉えることができる							
			2-2	医療現場の課題に注意を向け、その解決に努力することができる							
			3-1	医療事務に携わるために必要な知識と技能を身につける							
			3-2	医療分野のチームの一員として貢献することができる							
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標			ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
						凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標					
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
メディカルクラークⅠ	2	1	1	医療保険制度の基礎知識を理解できる			○		◎		
			2	診療報酬の基礎知識を理解し点数算定できる		○			◎		
			3	診療報酬明細書の記載要領を理解できる		◎			○		
メディカルクラークⅡ	2	1	1	医療機関において、患者接遇・受付の基礎ができる	◎			○	○	◎	
			2	診療報酬の基礎知識を理解し点数算定できる		○			◎		
			3	診療報酬明細書の記載要領を理解できる		◎			○		
メディカルクラーク応用	1	1	1	診療録(カルテ)を正しく読むことができる		○			○	◎	
			2	診療報酬明細書の誤りを発見できる				◎	○	◎	
			3	医療事務技能審査試験に向け時間内に解答できる			◎		◎		
ドクターズクラークⅠ	2	1	1	医療保険制度・医療関連法規を理解できる		◎	◎		○		
			2	医学一般・薬学一般を習得する				○	○	○	
			3	各種医療文書を作成できる	○			○	◎	○	
ドクターズクラークⅡ	2	1	1	医療保険制度・医療関連法規を理解できる		◎	◎		○		
			2	医学一般・薬学一般を習得する				○	○	○	
			3	各種医療文書を作成できる	○			○	◎	○	
調剤報酬請求事務	2	1	1	医療保険制度を理解できる			○		◎		
			2	診療報酬明細書の作成、点検ができる		○			◎		
			3	患者接遇と受付実務を身につける	◎			○	○	◎	
ケアクラーク	2	1	1	介護保険制度の基礎知識を理解できる			○		◎		
			2	介護報酬を理解し介護給付費の算定ができる		○			◎		
			3	介護給付費明細書の記載要領を理解できる		◎			○		

「観光」分野 ミドルレベルディプロマポリシー		1-1	旅にある癒しや楽しさを伝えることができる							
		1-2	観光のホスピタリティを学んでおもてなしができる							
		2-1	旅を通じて国際的視野を持つことができる							
		2-2	観光を通して環境問題や高齢者問題などの社会情勢を理解する							
		3-1	旅行者ひとりひとりにやさしい旅を提案することができる							
		3-2	観光に関する情報収集につとめ、時代にふさわしい新しい旅を開発することができる							
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標 △:MDP達成のために望ましい目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
観光概論	2	1	1 観光の歴史、現状、将来展望を理解し説明できる	△	○	◎	△	△	○	
			2 上記の項目を理解し、自分の意見を持つことができる	◎	○	◎	○	○	○	
			3 上記の項目に関して自分の意見を相手に応じてわかりやすい形で伝えることができる	△	△	◎	◎	◎	◎	
京のくらし	2	1	1 京都に関するさまざまな分野の感性を磨く	◎						
			2 名所・旧跡への関心を高める	○		◎				
			3 要求された書式・文体で表現できる						○	
観光ビジネス実務総論	2	1	1 旅行商品の販売体系や各種割引運賃種別、宿泊運輸機関への予約方法などが分かる	△	○	○	○	◎	◎	
			2 上記1の項目を理解し、その課題、現状を知ることができる	△	○	○	◎	○	○	
			3 上記1の項目について自分の意見を持つことができるようになる	△	○	○	○	○	◎	
ツアープランニング	2	1	1 日本国内の地理・歴史・文化の基礎知識を修得することが出来るようになる	△	○	◎	○	△	○	
			2 海外主要国の地理・歴史・文化の基礎知識を修得することが出来るようになる	△	○	◎	○	△	○	
			3 自身のための国内・海外旅行日程を作成できるようになる	△	○	○	○	◎	◎	
ホテル・航空ビジネス実務	2	1	1 日本における航空ビジネスの歴史・成り立ちが理解できるようになる	△	○	○	○	○	◎	
			2 日本におけるホテルビジネスの歴史・成り立ちが理解できるようになる	△	○	○	◎	○	◎	
			3 航空関連ビジネスの実務知識を得ることが出来るようになる	△	○	◎	○	○	◎	
観光事業論	2	2	1 観光関連資源、施設、事業の実態や現状、今後の課題が理解できるようになる	△	○	◎	○	△	◎	
			2 上記1の結果を分析・検討し、自分の意見を持つことができるようになる	△	○	◎	○	△	◎	
			3 上記1の結果を分析・検討し、意見としてわかりやすく自分の言葉で相手に伝えることができるようになる	△	○	◎	○	△	◎	